



No. 6

経営とSDGs ～取組は身近なことから～

SDGs
17のゴール



業種別でみる具体的な取組内容 小売業②

4月号から、ステップ1の「SDGsを理解する」に重点を置き、業種別の具体的な取組内容をシリーズで紹介しています。今回は前回に引き続き、小売業についてです。 ※以下で紹介する取組はあくまで一例です。

脱プラスチックに取り組む

プラスチックごみによる海洋汚染は今や世界的な問題として認識されており、脱プラスチックの動きは世界規模で進んでいます。現状、日本の年間のプラスチックごみ発生量はアメリカに次いで世界2位となっています。国民ひとり一人に加え、企業も意識して取り組む必要があるかもしれません。

・レジ袋をポリ袋から紙袋へ

ポリ袋は海洋汚染につながるだけでなく、製造工程でCO₂などの温室効果ガスを多く発生させてしまいます。店舗で使用する袋をポリ袋から紙袋に切り替えることで、プラスチックや温室効果ガスの削減につながります。

紙袋を取り入れることのメリットは、環境問題への配慮だけではありません。紙袋は印刷も加工も比較的自由度が高く、おしゃれなデザインに上げることができます。

・テイクアウトは紙容器に

プラスチック製が多いテイクアウト容器ですが、最近では環境への配慮のために、紙製の質感を生かした目新しいデザインやおしゃれな紙容器の種類が増えてきています。

・プラスチックストローの廃止

代替品として紙製やステンレス製のストローを導入しても良いですし、食べられるストローもありかもしれません。

また、テイクアウトの場合は、飲み口から直接飲む「ストローレスリッド」の蓋を使用すれば、ストローを使うこともありません。

関連するゴール

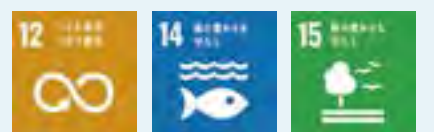


個人で取り組めるSDGs

3Rを心掛ける

3Rとは、Reduce (廃棄物の発生抑制)、Reuse (再使用)、Recycle (再資源化)の3つの取組の頭文字をとったものです。ごみをきちんと分別して処理したり、リサイクルを積極的に行うなど、基本に立ち返り日々の暮らしで意識してみてください。

関連するゴール



2ドア軽自動車地域最安値

24時間 **2,200円** 24時間
1週間 **8,580円** 1ヶ月 **27,280円**

メンテナンス不要・保険付き・税込

買うより借りる
ガッツでしょ!

ガッツレンタカー 新潟駅前店

TEL: 025-256-8520 FAX: 025-256-8325

新潟市中央区明石 1-2-10 コーポ明石1F

https://guts-rentacar.com/



『認定支援機関』として新潟の企業を応援します!

詳しくはこちらへ → <https://www.ogawakaikei.co.jp/>

(本店) 新潟市東区豊2-6-52 TEL 025-271-2212

税理士法人

小川会計

株式会社 小川会計

コンサルティング

社会保険労務士法人

KBS

- 法人税務～相続まで総合支援
- 事業承継とコロナ対策支援

- 経営計画策定・モニタリング支援
- 認定支援機関補助金申請

- 人事・労務相談
- 就業規則・助成金申請

会社の福利厚生を応援します

新潟市が出資している法人です。

従業員1人当たり月800円で、充実した福利厚生を実現!

会員募集中!



主な事業：慶弔給付、健康維持増進、自己啓発援助、余暇活動援助ほか

詳しいサービス内容はインターネットで

愛称 **ニピイ**

公益財団法人
新潟市勤労者福祉サービスセンター
新潟市中央区西堀通6-878-1 西堀7番館ビル3F
電話 (025) 201-6113 <http://www.nipy.jp/>

本連載では、IT経営マガジン「COMPASS」に掲載した全国のIT活用事例をもとに、中小企業の経営において、ITがどのように役立つかを、解説していきます。

ITを事例から ひも解く



『残業のない会社』を どうやって実現したか

最近「ハードワークで給料が高い会社」より「残業がなくプライベートの時間を大切にできる会社」を好む人も増えています。

30年ほど前、求人しても応募がなく、将来を憂いた経営者が、「残業がなく働きやすい会社」を目指して改革に踏み出しました。積み重ねの結果、今は……？

今回は、その名称ができる前から「働き方改革」を行ってきた企業の例を見てみましょう。

〔COMPASS〕2021年春号、2018年夏号から転載（記載内容は掲載時点のもの）



IT経営マガジン「COMPASS」編集長
石原 由美子

「原則残業はなく、年間の休みは120日以上確保しています。『プライベートな時間が確保できる会社』と認知されたようで、若手が集まるようになりました」

ブログが絶大なアクセス数を示す三元ラセン管工業（大阪府大阪市）の高嶋博会長は、社長就任時から行ってきた改革の結果をこのように話す。

同社は、自由に曲げられるフレキシブルチューブと、後継者がいない会社から譲り受けた伸縮する蛇腹チューブ・ベローズの分野で、特殊素材での受注生産を目指した。

町工場には若手が集まらず、技術を伝承したくてもできないことが大きな悩みの一つだった。

では、受注生産にも関わらず、なぜ残業せずに帰れるようになったのか。

納期について顧客の納得を得て、無理な受注をしないことを心掛けつつ、短納期でつくれる技術・

体制を持ち、約束した納期をしっかりと守っている。Webで情報発信し、出展した展示会に見に来てもらえるよう、案内を続けた。

同時に、「多能工化」を進め、1人がカバーできる業務範囲を拡大。他の現場を手伝えれば、全体の効率が上がるからだ。

そして、ITの活用である。顧客管理システムを導入し、受注履歴をスピーディーに把握。過去の凶面を探すことも多いため、文書検索システム「デジタルドルフィン」を活用し、キーワード検索で書類を簡単に探せるようにしている。

またグループウェアで互いの予定を共有することで、忙しい部署を手伝う文化も醸成された。

こうした取り組みの様子は、Webサイトやブログ、SNSからも広く発信。社員が辞めない・求人の際に若手の応募を得られる会社に変化していったのである。

事例からヨミトル

- ・ 残業を増やしている原因は何でしょう。「仕方がない」と思わずに点検してみましょう。
- ・ ITを使うと、過去の情報を探す・活用する時間を短縮することができます。
- ・ 会社の特徴は積極的に発信していきましょう。求人にも効果があります。

会社概要

社名	三元ラセン管工業株式会社
住所	大阪府大阪市城東区永田 1丁目2番37号
設立	1978年
従業員数	25人
事業内容	ベローズ、フレキシブルチューブ等の製造
URL	https://www.mitsumotobellows.co.jp/